



学校だより

神橋 3月号

令和5年2月28日
横浜市立神橋小学校

学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamihashi/>

よりよい授業をめざして

こうちょう はんじ たまみ
校長 判治 珠美

6年生の教室では「卒業まであと〇日」というカウントダウンが始まりました。他の学年でも「〇年生まであと〇日」という言葉を聞きます。どの学年でも残り少ない1日1日を大事に過ごすという気持ちを感じます。

今年度本校では「自ら課題を発見し、学び合いを通して解決できる児童の育成」をテーマに、算数の授業を通して、重点的に研究を進めてきました。授業の中での子どもたちの姿を振り返り、授業の流れや子どもたちへの問題の出し方や声かけが適切だったのか、黒板の使い方や子ども達への資料はわかりやすかったか、などについて話し合い、改善に取り組みました。

その中で大切にしてきたのは、子どもたちの「やる気」を引き出すことです。そのために教師がいろいろな「しかけ」を行いました。例えば1年生は「おおきいかず」、2年生は「1000より大きい数をしらべよう」の学習で、環境委員会の5・6年生の依頼で、それぞれヒマワリの種や集めたペットボトルキャップの数を数えました。「お姉さんたちのお願いだからがんばろう！」という気持ちで、10や100、1000のまとまりを作るなど、友達と協力して、工夫して正確に数え、報告しました。子どもたちは「数えられた！」という達成感や「5・6年生の役に立てた！」という自己有用感を感じると共に、その単元での算数のねらいも達成することができました。

その他の学年でも、子どもたちに必要感のある課題や、意欲をくすぐる提示の仕方、具体的に操作できる教材・教具や、タブレットの効果的な活用など、いろいろな工夫が見られ、子どもたちの「やる気」につながっていました。

昔は、授業は「チョーク&トーク」と言われる、板書と教師の話が中心で行われ、子どもたちは話を聞いてノートに書く、勉強は先生に教えてもらう、というスタイルが多かったと思います。今はご存知の



通り、子どもたちが主体的に学ぶことを目指しています。そのために今後

も教師自身が日々授業をアップデートしていくよう取り組んでいきます。

今年度もコロナ禍の中、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力のおかげでさまざまな教育活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

